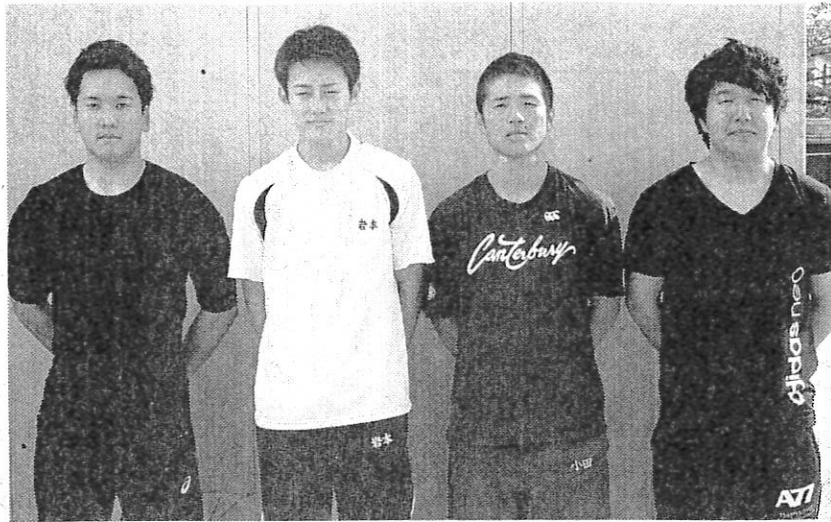


昭和21年7月10日第3種郵便物認可



(左から) 面屋聡紀君、岩本航輝君、小田宏太君、松本尚希君。
4人は近畿総体に、面屋君と岩本君は全国総体に出場する

高校総体 県予選

岩本君、面屋君 田辺工業 全国へ

ウエイトリフティング

県高校総体のウエイトリフティング競技がこのほど、和歌山市の和歌山東高校であった。紀南で唯一出場した田辺工業から、男子56キ級で2年の岩本航輝君(17)、男子69キ級で3年の面屋聡紀君(18)がそれぞれ準優勝し、全国高校総体(インターハイ)の出場を決めた。同校から岩本君と面屋君を含む4人が近畿総体に出場する。

県総体に5校が参加した。男子の部は9階級あり、バーベルを一気に頭上へ引き上げる「スナッチ」と、いったん

バーベルを胸まで上げてから頭上に持ち上げる「ジャーク」の合計重量で競った。8月3～6日に福島市であ

れた。岩本君は56キ級でスナッチ63キ、ジャーク82キで標準記

録ちよつどの合計145キを記録。面屋君はスナッチ85キ、ジャーク106キの合計191キで標準記録の170キを超えた。岩本君は「体調を整えて、ベストの状態でインターハイに臨みたい」、面屋君は「初めてのインターハイ。悔いがないように全力で挑み、良い成績を残したい」と話している。

男子77キ級に出場した同校2年の松本尚希君(16)は合計160キを出し、標準記録の180キには達しなかったものの優勝。3年の小田宏太君(17)は男子62キ級で失敗して失格となったが、これまでの成績を考慮され、ともに16～18日に大津市である近畿総体に出場する。